

「修飾」という考え方 <ページ1>

♪ 「修飾」という考え方 ♪

◆「修飾」って？

簡単な言葉で言うと「飾る」こと。「説明する」こと、と考えても良いです。
ここで解説していく「修飾」は、**名詞に対する修飾**です(^o^)φ

例えば、

・その女の子は、歌手だ。

これは「修飾」部がない文。

この文に出てくる「(その)女の子」や「歌手」という名詞に対して、

「どういう女の子」なのか / 「どういう歌手」なのか

という説明を付け加えるのが、「修飾」部の役目です 川^▽^川 ~♪ (←歌手の女の子?)

・毎日テレビに出ているその女の子は、歌手だ。

・犬と遊んでいるその女の子は、歌手だ。

・その女の子は、若者に人気のある歌手だ。

・その女の子は、昨年ニューヨークでデビューした歌手だ。

_____部が修飾部。

「これこれこういう女の子」、「これこれこういう歌手」と、の名詞を修飾しているね。

【ミニ練習問題】 次の文中で、で囲まれた名詞を修飾している修飾部に下線を引きなさい。

(1) あの木の下に立っているは私の妹です。

(2) 私は、この部屋の奥で眠っているを飼っています。

(3) これは夏目漱石が書いたです。

(4) 母が買ってきたはおいしかった。

(5) 向こうのベッドで泣いているは彼らの娘です。

(6) 英語は世界中で話されているです。

(7) それらはアメリカで作られたです。

(8) 私が彼から先月もらったはとても難しい。

(2)私は

(3)これは

(6)英語は

(7)それらは

↑

この部分には

下線は引かないでね！

「どういう〇〇」の「どういう」という部分には

これらは含まれないよね。

つまり、「修飾部」には含まれないということ(^o^)

☆ 日本語での「修飾部」と「修飾される名詞」の位置関係、つかめたかな～？

ここでつかんだ感覚を忘れないでね！ では次に進みましょう(^▽^)/

「修飾」という考え方 <ページ4>

◆現在分詞・過去分詞を使う「修飾」について、さらに知っておいてほしい文法。

a boy running in the park (公園で走っている男の子)

英語は 名詞 修飾部 という形 / 日本語は 修飾部 名詞 という形

ここまでは、前のプリントで学んだ内容だね。

では、

a running boy (走っている男の子)

…おや？

a running boy 走っている男の子 … 英語も日本語も、修飾部 名詞 という形だね？

(・▽・) < 何だ何だ？ 何が違うっていうんだ？

もう少しいろいろ比べてみましょう。

{	a dog swimming in the river (その川で泳いでいる犬)
{	a swimming dog (泳いでいる犬)

{	a window broken by him (彼によって壊された窓)
{	a broken window (壊された窓)

{	a book translated into Japanese (日本語に翻訳された本)
{	a translated book (翻訳された本) ※translate(トランスレイト) = 翻訳する

(^▽^) < …そう！

・現在分詞や過去分詞「だけ」で名詞を修飾すると、英語も日本語も 修飾部 名詞 という形！

・現在分詞や過去分詞だけでなく、「その川で」とか「彼によって」とか「日本語に」とか「他の語句」も修飾部に入っている場合は、

英語は 名詞 修飾部 という形 / 日本語は 修飾部 名詞 という形！

…なるほど～。(ー▽ー)納得。

英語は、修飾部が多くなる(現在分詞・過去分詞以外の語句も入ってくる)と、

まとめてよしよっと後ろに行っちゃうわけだね！

{	a boy running in the park (公園で走っている男の子)
{	a running boy (走っている男の子)

この違い、この形、それぞれしっかり覚えておいてくださいね♪

【ミニ練習問題】 次の日本語を英語に直しなさい。

↓「その」なので the か that を付けよう。

(1) その歌っている女の子 (the singing girl)(2) 教室の中で歌っているその女の子 (the girl singing in the classroom)(3) その歌っている女の子は、私の友達です。
(The singing girl is my friend.)

「修飾」という考え方 <ページ6>

③ 「関係代名詞(かんけいだいめいし)」を使う。



またまた難しそうな文法用語が(^▽^)

でも、ここまでの内容を理解できているあなたなら大丈夫！ まず例文を見てみましょう。

Ms. White is a teacher who is liked by everyone. ホワイト先生は皆に好かれている先生です。

This is the book which I borrowed from him. これは私が彼から借りた本です。

これらの英文の中で使われている、who や which などを「関係代名詞」と呼びます。

修飾される 名詞 と 修飾部 の関係は、

今まで学習した、現在分詞・過去分詞を使う修飾、接触節を使う修飾と同じだね(^o^)

詳しくは、「関係代名詞」のプリントであらためて解説します。

そちらを参照してくださいね。そして練習問題でバリバリ練習してくださいね(。.;)

④ 不定詞(to + 動詞の原形)の「その3(形容詞的用法)」を使う。

これはすでに学習済み！という人が多いかな(^▽^)

a book to read 読むための(読むべき) 本

places to visit 訪れるための(訪れるべき) 場所

a present to give you あなたにあげる(ための) プレゼント

time to study English 英語を勉強するための 時間

something to read 読むための 何か something to eat 食べるための 何か

このような形について、たくさん練習したよ！という人も多いかと思いますが、

これらも実は、「修飾」の一種と考えることができます。

英語は 名詞 修飾部 / 日本語は 修飾部 名詞 この形が成り立っているよね(^o^)

(・▽・;) < まだあんまり練習してない… (┐┌;) < あんまりどころか…全然…

という人は！

ぜひ！「不定詞その3(形容詞的用法)」のプリントで練習を！！たくさんしてね！！(←強くお勧め)

- ◆ 「修飾」についてのまとめは以上です。 ◆
- ◆ 「修飾」が含まれている英文を読んで意味がわかり、自分で書くこともできれば、 ◆
- ◆ 英語の力はグッとアップしていると言えます！ ◆
- ◆ そこまで行けることを目指して、練習を積み重ねてくださいね。Try hard! (≥▽≤) ◆

↓このように、同じ日本語でも、2種類(以上)の表し方で「修飾」を書き表せる場合がありますので♪

【ミニ練習問題】 次の(1)(2)を、2種類の「修飾」で表してみましょう。 ※a picture、a dress でもOK。

(1) ユミが昨日撮った写真 「接触節」で → (the picture Yumi took yesterday)

過去分詞を使う修飾で → (the picture taken by Yumi yesterday)

↑「ユミによって昨日撮られた写真」と言い方を変えると、過去分詞で表せるよ。

(2) 私の母が昨年作ったドレス 「接触節」で → (the dress my mother made last year)

過去分詞を使う修飾で → (the dress made by my mother last year)

↑これも同じく言い方を変えると、「私の母によって昨年作られたドレス」だね(^▽^)